

ひがしそのぎ 議会だより

第 149 号



河川公園 やすらぎの里

3月定例会

27年度予算決まる	2～3 ページ
条例改正・補正予算等	4 ページ
町政を問う！4人が一般質問	5～6 ページ
議会活動報告	7 ページ
編集後記	8 ページ

8 特別会計予算

全会一致可決

- 公共用地等取得造成事業については、千綿紡績跡地の測量設計業務委託料が皆減された。
- 国民健康保険事業においては税収は若干の伸びが予想されるが、療養諸費等の大幅増が想定されるため、対前年比17%増である。
- 介護保険事業において保険給付費は、ここ数年ほぼ横ばい状態だが、施設の増加によるサービス費の上昇で3.5%増である。
- 後期高齢者医療では、対前年比1.5%増である。
- 簡易水道事業では、統合簡易水道事業の実施に伴い、対前年比83.4%の大幅増である。
- 農業集落排水事業では、中尾地区において、接続が全て完了しているが、西部地区においては接続率82%である。
- 漁業集落排水事業の接続率が77%であることから、さらに接続の推進が必要である。
- 公共下水道事業では、平成26年度末現在の整備済面積は、全体計画160haの内125.5haとなっているが、接続率は69%にとどまっている。27年度は第3期認可区域である千綿宿地区の整備に着手する。第2期認可区域については、橋ノ詰地区、三根地区の面的整備が進められる。

(単位：千円)

項目	27年度	26年度	比較増減
公共用地等取得造成事業特別会計	521	10,345	△9,824
国民健康保険事業特別会計	1,501,000	1,281,574	219,426
介護保険事業特別会計	880,000	850,000	30,000
後期高齢者医療特別会計	100,000	98,500	1,500
簡易水道事業特別会計	783,134	426,920	356,214
農業集落排水事業特別会計	40,000	45,500	△5,500
漁業集落排水事業特別会計	8,300	9,200	△900
公共下水道事業特別会計	433,400	427,500	5,900
合計	3,746,355	3,149,539	596,816

平成27年度一般会計予算

全会一致可決

(単位：千円)

款	本年度 予算額	前年度 予算額	比較	款	本年度 予算額	前年度 予算額	比較
議会費	74,805	84,471	△9,666	町税	662,977	704,645	△41,668
総務費	525,033	530,772	△5,739	地方譲与税	52,600	54,400	△1,800
民生費	1,273,167	1,226,632	46,535	地方消費税交付金	134,000	90,000	44,000
衛生費	372,482	346,632	25,850	地方交付税	1,990,000	1,995,000	△5,000
労働費	10	10	0	分担金及び負担金	35,516	24,674	10,842
農林水産業費	341,172	370,511	△29,339	使用料及び手数料	77,689	80,569	△2,880
商工費	52,410	106,140	△53,730	国庫支出金	531,109	427,856	103,253
土木費	670,816	592,517	78,299	県支出金	414,746	392,955	21,791
消防費	232,435	182,941	49,494	財産収入	16,987	15,295	1,692
教育費	401,161	382,960	18,201	寄付金	7,502	1,252	6,250
災害復旧費	3,195	3,256	△61	繰入金	245,393	258,580	△13,187
公債費	715,865	726,602	△10,737	繰越金	50,000	50,000	0
諸支出金	1	1	0	町債	385,300	407,600	△22,300
予備費	9,448	10,555	△1,107	その他	68,181	61,174	7,007
歳出合計	4,672,000	4,564,000	108,000	歳入合計	4,672,000	4,564,000	108,000

本年度は町長選挙年に当たり、町長独自の政策が組み込めない、いわゆる骨格予算と言われる予算編成が行われ、歳入・歳出がそれぞれ1億800万円増額された予算となった。

歳入では、国庫支出金1億325万3千円増、歳出では、民生費4653万5千円、土木費7829万9千円、消防費4949万4千円の増額が主なものである。



予算の診断は、議会が
しっかり行います。

【議員】当初予算と補正予算に計上された事業が全て不用額となる。このような

【町長】協力隊員3名の話し合いがうまくいかず、全額不用額となっている。

【議員】地域おこし協力隊員の拠点として歴史民俗資料館横の体験工房を改装するために計上された当初予算245万円と6月補正予算の110万円はどうなったのか。

【議員】6月補正予算1010万円で計上された道の駅EV設置工事費(電気自動車用)の現状と成果は。

【町長】715万円で完成したが、現在まで使用されていない。

一般質問
(本稿は質問者の責任で作成しています)



吉永 秀俊 議員

状況と成果・結果は

【議員】JA旧千綿支店米倉庫を改装するための設計費270万円は。また、ここを約2000万円で改装する計画があるが、JAとの賃貸契約はどうなっているのか。

【町長】設計費は180万円に発注した。JAとの契約は1年更新契約である。

【議員】2000万円も掛けて改装し、2〜3年で契約が解消されたらどうなるのか。5年〜10年の定期賃貸契約が常識と思うが。

【町長】相手側を信用しての賃貸契約である。

【議員】12月補正予算700万円で計上された茶畑ロードレース大会の成果は。27年度の開催はあるのか。

【町長】680万円の費用で370名の参加があった。7割が町外からの参加でした。できれば開催したい。

【議員】「日本で最も美しい村」連合会加盟料10万円と連合会負担金41万円の結果は。

【町長】23年度から申請を続けてきたが、昨年審査があり、国道の除草がされていないなどの理由で登録されなかった。審査料10万円は無駄になった。

【議員】まちづくり支援交付金ハード事業の状況は。

【町長】平似田地区34万円、蕪地区208万円、千綿地区156万円、一ツ石地区53万円の4事業の申請があった。

【議員】宅地造成をするための千綿紡績跡地測量設計業務委託料982万円の結果は。

【町長】瀬戸地区の話し合いに1回も呼ばれず、全額不用額となった。

【町長】年間委託料は約2400万円で25年度の利用者数は5400人であった。現状は収支率が悪く来年からはスクールバスの運行も始まるので、協議会をつくり、廃止を含めた検討も今後必要になると思う。

町営バスの現状と今後は

【議員】災害発生時は地域の拠点となる建物であり、非常食や毛布などの

【町長】そういうものはないが、1分団、2分団、4分団、7分団詰所の耐用年数が過ぎている。

町の公共施設全体をみながら、社会資本整備を行う必要があるが、財政計画をたて、取り組んでいく。

【議員】消防団は通常他の職業についている一般町民の方で構成されており、その活動はボランティア精神で成り立っています。

現在まで詰所建て替えが半分完了されているが、残りの建て替え計画は。

【町長】消防団は通常他の職業についている一般町民の方で構成されており、その活動はボランティア精神で成り立っています。

現在まで詰所建て替えが半分完了されているが、残りの建て替え計画は。

【町長】そういものはないが、1分団、2分団、4分団、7分団詰所の耐用年数が過ぎている。

町の公共施設全体をみながら、社会資本整備を行う必要があるが、財政計画をたて、取り組んでいく。

【議員】災害発生時は地域の拠点となる建物であり、非常食や毛布などの

【議員】現在町の総合会館に備蓄している。今後は国土交通省の防災拠点としての指定が予想されるので、更に充実できると思う。

【町長】現在町の総合会館に備蓄している。今後は国土交通省の防災拠点としての指定が予想されるので、更に充実できると思う。

【議員】財政状況が厳しくなる時、町将来人口の激減が人口変動と将来予想で発表されましたが、町の出生率と未婚率は県内ではどの位置にあるのか。その対策と検証は。

【町長】出生率は最下位で、未婚率は一番である。施策としては、育児や住宅政策への補助、親が仕事に専念できる環境づくりなどを推進している。

【議員】国に要請に沿って地方版総合戦略を策定しなければならぬが、地域の実情に沿ったものを作成するための基本的な考えは。

【町長】島根県海士町がまちづくりのモデル地域だと考えている。地域の特産物を見直して産業創出に取り組みられているなど、参考とするべきものが多い。

【議員】地方創生事業は、今後5年間は否応なく地方に対応を迫られ、自治体間の格差が広がる恐れもあります。

国の補助事業だけでなく、自主性を発揮した単独事業も計画立案し、成果を上げなければならぬ。政策分野ごとに具体的な施策をどのように実行されるのか。

【町長】今まで実施してきた「まちづくり事業」がまさに地方創生事業であり、数年前から取り組んでいるものである。

【議員】国の要請に沿って地方版総合戦略を策定しなければならぬが、地域の実情に沿ったものを作成するための基本的な考えは。

【町長】島根県海士町がまちづくりのモデル地域だと考えている。地域の特産物を見直して産業創出に取り組みられているなど、参考とするべきものが多い。

【議員】現在町の総合会館に備蓄している。今後は国土交通省の防災拠点としての指定が予想されるので、更に充実できると思う。

【議員】現在町の総合会館に備蓄している。今後は国土交通省の防災拠点としての指定が予想されるので、更に充実できると思う。

【町長】現在町の総合会館に備蓄している。今後は国土交通省の防災拠点としての指定が予想されるので、更に充実できると思う。

【議員】財政状況が厳しくなる時、町将来人口の激減が人口変動と将来予想で発表されましたが、町の出生率と未婚率は県内ではどの位置にあるのか。その対策と検証は。

【町長】出生率は最下位で、未婚率は一番である。施策としては、育児や住宅政策への補助、親が仕事に専念できる環境づくりなどを推進している。

【議員】国に要請に沿って地方版総合戦略を策定しなければならぬが、地域の実情に沿ったものを作成するための基本的な考えは。

【町長】島根県海士町がまちづくりのモデル地域だと考えている。地域の特産物を見直して産業創出に取り組みられているなど、参考とするべきものが多い。

【議員】地方創生事業は、今後5年間は否応なく地方に対応を迫られ、自治体間の格差が広がる恐れもあります。

国の補助事業だけでなく、自主性を発揮した単独事業も計画立案し、成果を上げなければならぬ。政策分野ごとに具体的な施策をどのように実行されるのか。

【町長】今まで実施してきた「まちづくり事業」がまさに地方創生事業であり、数年前から取り組んでいるものである。

【議員】国に要請に沿って地方版総合戦略を策定しなければならぬが、地域の実情に沿ったものを作成するための基本的な考えは。

【町長】島根県海士町がまちづくりのモデル地域だと考えている。地域の特産物を見直して産業創出に取り組みられているなど、参考とするべきものが多い。

【議員】現在町の総合会館に備蓄している。今後は国土交通省の防災拠点としての指定が予想されるので、更に充実できると思う。

【議員】現在町の総合会館に備蓄している。今後は国土交通省の防災拠点としての指定が予想されるので、更に充実できると思う。

【町長】現在町の総合会館に備蓄している。今後は国土交通省の防災拠点としての指定が予想されるので、更に充実できると思う。

【議員】財政状況が厳しくなる時、町将来人口の激減が人口変動と将来予想で発表されましたが、町の出生率と未婚率は県内ではどの位置にあるのか。その対策と検証は。

【町長】出生率は最下位で、未婚率は一番である。施策としては、育児や住宅政策への補助、親が仕事に専念できる環境づくりなどを推進している。

【議員】国に要請に沿って地方版総合戦略を策定しなければならぬが、地域の実情に沿ったものを作成するための基本的な考えは。

【町長】島根県海士町がまちづくりのモデル地域だと考えている。地域の特産物を見直して産業創出に取り組みられているなど、参考とするべきものが多い。

【議員】地方創生事業は、今後5年間は否応なく地方に対応を迫られ、自治体間の格差が広がる恐れもあります。

国の補助事業だけでなく、自主性を発揮した単独事業も計画立案し、成果を上げなければならぬ。政策分野ごとに具体的な施策をどのように実行されるのか。

【町長】今まで実施してきた「まちづくり事業」がまさに地方創生事業であり、数年前から取り組んでいるものである。

【議員】国に要請に沿って地方版総合戦略を策定しなければならぬが、地域の実情に沿ったものを作成するための基本的な考えは。

【町長】島根県海士町がまちづくりのモデル地域だと考えている。地域の特産物を見直して産業創出に取り組みられているなど、参考とするべきものが多い。

【議員】現在町の総合会館に備蓄している。今後は国土交通省の防災拠点としての指定が予想されるので、更に充実できると思う。

条例改正等

介護保険条例の一部改正

全会一致可決

第6期介護保険事業計画策定による保険料率の決定及び所得段階の変更並びに制度改正等に伴い、改正されるもの。

長崎県内では、多くの自治体により平成27年4月から介護保険料の値上げが予定されているが、当町においては5,700円の据え置きとなっている。

辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画について(太ノ浦地区)

全会一致可決

平成28年度の学校統廃合に伴い、遠距離通学児童の利便性と安全確保を図るため、スクールバス購入事業を追加するもの。

補正予算

一般会計(第8号)

全会一致可決

歳入歳出それぞれ9232万5千円を減額し、総額を48億1727万円とするもの。今回の補正の主なものは、歳出では決算見込みによる減額が主である。歳入では、普通交付税210万8千円、国庫支出金267万7千円等が追加計上されている。

公共用地特別会計(第1号)

全会一致可決

歳入歳出それぞれ982万4千円を減額し、総額を52万1千円とするもの。今回の補正は、千綿紡績跡地の測量設計業務委託料について、地元との協議に不測の日数を要し、年度内の調整が困難となったため。

国民健康保険特別会計(第2号)

全会一致可決

歳入歳出にそれぞれ2660万円を減額するもの。退職被保険者等療養給付費1300万円減、共同事業拠出金、保健事業費も確定等により1360万円減額計上された。

簡易水道特別会計(第3号)

全会一致可決

公共下水道特別会計(第3号)

全会一致可決

議会活動報告

総務厚生常任委員会

利府町は宮城県のほぼ中央に位置し、平成の大合併で合併を選ばなかったが、仙台市のベッドタウンとして人口が飛躍的に伸びている町です。

町内には県立運動公園や日韓共同のワールドカップの時のサッカースタジアムが建設されており、2020年東京オリンピック時のサッカー競技招致運動を行っているとのことでした。

人口は昭和60年12,031人でしたが、平成26年35,750人となっている。

主な要因は「利府町に住んでよかった。住みたい。住み続けたい。」と言ってもらえるような「子育てしやすいまちづくり」に町独自の施策を展開されていた。



宮城県利府町議場にて（1月15日）

利根町は、茨城県の最南端に位置し、都心から40km圏内にあり、人口16,641人の町である。

子育て支援等に関する事業について子育て応援手当支給として、第2子に対し1年目に3万8千円、2年目から15年目まで3万3千円で総額50万円、第3子以降の子に対し、1年目に7万6千円、2年目から15年目まで6万6千円で総額100万円が支給されていた。

産業建設文教常任委員会

去る、1月15日東彼杵町が抱える諸問題を次の3省庁に陳情しました。

厚生労働省で本町簡易水道事業統合の補助対象期限の平成28年度までを財政的並びに時間的余裕がないため、3年間延長してほしいとの陳情（厚生労働大臣政務官高階恵美子氏、健康局水道課長等の対応）

農林水産省で里漁港の水産物供給機能保全事業（護岸保全）の早期着工並びに音琴漁港・千綿漁港・里漁港の合併の認可についての陳情（農林水産大臣政務官中川郁子氏、漁港漁場整備部整備課長等の対応）

文部科学省で平成28年4月1日から統廃合する小学校のスクールバスの住民利用に関する規定の緩和、運行に対する財政支援、学校統廃合に伴う学校整備費補助金等の充実の陳情（文部科学副大臣丹羽秀樹氏ほか課長等の対応）

16日は、大田市場で農産物の出荷状況等を調査しました。



厚生労働省にて



佐藤 隆善 議員

一期4年間の町政での成果は

【議員】町長に就任して一期4年が終わろうとしています。就任当初考えていた政策等の成果を自身でどのように感じてもらえるのか。

【町長】町民の皆様約束した公約を実行する為に取組んでまいりました。その中でも、まちづくり委員会（交付金）を初め、町民皆様で考えて一緒にまちづくりに積極的に行動して戴く事業を推進してまいりました。千綿地区の下水道区域の見直しによる合併浄化槽の設置計画、地域おこし協力隊の受入れ、企業誘致、自主防災の強化、水道の幹線改良等に取組んだ。千綿女子高等学園跡地の活用、小音琴潮風対策、人

小学校統廃合の準備計画は

【町長】性格でもありませんが確かに急ぎすぎた面も有ったと思いますので、今後は職員と十分な協議を心掛けるようにしたい。

【議員】平成28年度から大楠小・音琴小学校が彼杵小学校に統合されますが、時間が少ない中で準備をしていく訳ですが次の事をお尋ねします。

①教室の整備計画
②通学計画はどの様に考えているのか。

【教育長】①統合後に児童数から考え、全校で12教室を予定しているが、彼杵小学校は13教室利用



出来、対応可能な為に工事は考えていない。ただ、屋内運動場は一部補修を予定している。
②通学はスクールバスを3台購入して1台を音琴校区に、2台を大楠校区に配置する事を予定し、購入に向け補助金申請をし、間に合わせる。
【議員】教室は問題がないが、通学についてはスクールバスの運行は町営バスとの関連等多くの問題が有るのでは。
【教育長】統合に向け学校、保護者、地域の作業部会で検討するため、区長会にも委員をお願いし、6委員会でも対応する。町営バスとの調整については、委員会の協議内容により町長部局と行う。本年の4月から教育委員会が大きく変わるので実行については町長と方針を詰めて実施していきたい。



浪瀬 真吾 議員

学校統廃合の進捗状況と取り組みについて

【議員】少子高齢化と共に町内の人口が減少していく中、グローバル化する社会の中で子ども達の将来を鑑みた場合、より良い教育環境を図って行くという事から、平成28年4月1日から音琴・大楠小学校を彼杵小学校に統合する条例改正案が昨年12月可決された。現在、実施計画案がどの程度進捗しているのか。廃校校舎の活用をどの様に考えているのか。スクールバスについて、一般住民の利用を可能とし、運賃を徴収した場合、道路運送法（旅客運送）等による問題は無いのか伺います。

校・福祉施設などがあり雇用も新しく生まれ、選択をしながら見極める。道路運送法による問題は、一部利用者の優遇は禁じられている。子どもは無料、大人は有料とした場合、道路運送法の手続きがある。地域の創意工夫で対応を図っている事例もあるので、児童生徒・一般利用者とも有料とする条例を設ける場合もある。その場合は、児童生徒の保護者に代わって、自治体が運賃を負担する方法、定期券を購入してもらう方法がある。スクールバスは、児童生徒を安全に送迎することが目的なので、今後は、公共交通会議の中で関係者の同意を頂きながら法令上の手続きを進めて行くと思う。

【議員】バスの乗降場所はどこになるのか。
【町長】バスをどこで止めるか、どこに格納できるか、用地買収を含めたところで検討する。
【議員】中学生の利用はどうか。
【教育長】配備のスクールバスは、29名乗りで3台を予定している。児童が乗った後の座席数は、あまり余裕がない。補助金の交付目的外使用については、文部科学大臣の承認が必要なので、計画に支障を及ぼさない範囲で目的外使用の計画を立て、町長部局と協議しながら進める。
【議員】バスの待ち時間はどのように対応するか。
【教育長】現在、大楠小では高学年の子供たちは、図書館で過ごし、部活をしている。今後、作業部会で検討する。
【議員】各小学校の記念誌などの制作計画はないのか。
【教育長】準備されているところもある。彼杵小学校に各小学校の歴史が記念に残るような場を配慮しながら進める。

お茶畑ロードレース大会



小学生・一般ゆっくりジョギング1.5kmのスタート（2月22日）

編集後記

梅は咲いたか桜はまだかいな

果たして桜咲くのか

私達の任期は今議会で任期満了となります。

この4年間で振り返りまして議員として足り得たのかと自問自答する今日この頃であります。

議会広報も町民皆様に愛読頂けたのでしょうか。

編集に際して

広報表紙に躍動的な町民皆様の姿を多く掲載しました。

結果の報告に留まらず、結果に至る経緯を紙面に表しました。（賛否、別れたときは賛否表と反対討論、賛成討論の内容掲載）等、極力、変化を持たせるべく努力致しましたが、満足の行く紙面とは言えません、今後の課題と致します。

町民皆様から叱咤激励を頂きながら任期満了できました事に感謝申し上げます。

議会広報編集常任委員

橋村孝彦
滝川初夫
吉永秀俊
佐藤隆善
浪瀬真吾
岡田伊一郎

